



なかたまの学び舎

園だより 9月

令和7年9月号

世田谷区立中町幼稚園

園長 佐藤 幸子



『へいわってすてきだね』…一冊の絵本から

園長 佐藤 幸子

2学期が始まりました。それぞれのご家庭で、暑さをしのぐ工夫をしながら夏休みを過ごされたことでしょう。2学期も、子どもたちが元気いっぱい自分のやりたいことをしたり、友達との関わりを楽しんだりして、安心して過ごせるよう、全教職員で子どもたちを支えていきたいと思います。保護者の皆様、どうぞよろしくお願いいたします。

この夏、戦後80年…という言葉が様々な場面でお聞きになったことと思います。私はこの夏『へいわってすてきだね』という一冊の絵本に出会いました。この絵本は、沖縄県与那国島の小学校1年生の児童が、沖縄県平和祈念資料館がつのった「平和へのメッセージ」によせた詩で、2013年の沖縄全戦没者追悼式で詩を書いた児童が朗読したそうです。

絵本の内容を少し…。

“へいわって なにかな ぼくは かんがえたよ” という言葉から始まります。



おともだちと なかよし かぞくが げんき えがおで あそぶ
ねこが わらう おなかが いっぱい やぎが のんびり あるいてる
けんかをして も すぐ なかなおり
ちょうめいそうが たくさん はえ よなぐにうまが ヒヒーンと なく
みなとには フェリーが とまっていて うみには かめやかじきが およいでる
やさしいところが にじいろになる へいわっていいね へいわってうれしいね
みんなのころから へいわがうまれるんだね

・・・途中省略・・・

最後は “これからも ずっとへいわがつづくように ぼくも ぼくのできることから がんばるよ” で終わります。

絵本の絵は、長谷川 義史さんです。長谷川さんがあとがきに“そのごく当たり前のことを一人の少年がぼくたちに教えてくれたのです”とあります。当たり前のこと、当たり前の日々がいかに大切かということを感じます。「おはよう」から始まり、「おやすみなさい」と言って、一日を終えることは奇跡と言っているかもしれません。

これからの未来を生きる子どもたちに、今私たちができることは何か…。笑い合えることの喜び、命ある生き物を大事にすること、咲くべき時期に花が咲くこと、一人一人の優しい心もち…等々、たくさんの方がいると思います。自分のできることを…その小さな積み重ねが平和につながると信じて…。



9月の教育目標

◇年少組

- ・幼稚園生活のリズムや生活に必要な生活習慣を取り戻す。
- ・自分のしたいことを見付けて遊んだり、体を動かして遊んだりすることを楽しむ。



◇年長組

- ・いろいろな運動に取り組み、友達と体を動かす楽しさを感じる。
- ・友達との関わりの中で、自分の思いや考えを発信したり、友達の思いに気付いたりして遊ぶ。
- ・共通の目的に向かって、学級の友達と一緒に活動する楽しさを感じ、一人一人が自分なりに取り組もうとする。

